

1. 大阪市立科学館の概要

名称：大阪市立科学館（英名：Osaka Science Museum）

館長：高橋 憲明（大阪大学名誉教授）

住所：〒530-0005 大阪市 北区 中之島 4-2-1

電話：06-6444-5656（代表）

ホームページ：<http://www.sci-museum.jp/>

開館：平成元年(1989年)10月7日

設置者：大阪市

運営形態：指定管理（指定管理者：財団法人大阪科学振興協会）

設置目的：科学及び科学技術に関する資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究および普及指導を行い、市民の文化と教養の向上に寄与することを目的とする。

- 事業：(1)科学及び科学技術に関する機器、装置、図書、文献、図表、写真、フィルム等(以下、「科学館資料」という)を収集し、保管し、展示し、及び閲覧させること
 (2)プラネタリウムその他の映写装置による天体運行等の映写並びに望遠鏡等による天体の観測、研究及びこれらに関する指導を行うこと
 (3)科学館資料に関する調査研究を行うこと
 (4)講演会、講習会、研究会等を開催すること
 (5)他の博物館、学校、学会その他関係機関と連絡し、及び協力すること
 (6)その他教育委員会が必要と認める事業

運営テーマ：「宇宙」と「エネルギー」を中心にそれらに関する様々な科学知識・技術の普及、啓発、研究

開館時間：9時30分～16時45分(観覧券の販売は16時まで)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日(土・日・祝日の場合は開館)

年末年始(12月28日～1月4日)、他に臨時休館日を設けることがあります

面積：敷地面積/16086.75 m²、建築面積/3165.78 m²、延床面積/9331.48 m²

展示場：4階から1階まで、のべ3156.3 m²



	展示テーマ	展示点数	展示場面積
4階	宇宙とその発見	94点	1394.4 m ²
3階	身近に化学	34点	996.0 m ²
	サイエンスショー		
2階	おやこで科学	36点	421.9 m ²
1階	電気とエネルギー	24点	344.0 m ²
屋外展示など		5点	

プラネタリウムホール：直径26.5mのドームスクリーン、318席(内、車いす席6席)、480.0 m²

主な機器	プラネタリウム	インフィニウム L-OSAKA (6.5等まで約9000個の恒星を投影、全恒星またたき、明るい恒星100個はスペクトル型に応じた色表現等の機能)
	全天周映像	バーチャリウムII (6台のDLPプロジェクターで半球状のドームスクリーンにさまざまな映像や画像を映写、プラネタリウム補助投影機としても使用)
		オムニマックス (70mm15パーフォーレーションフィルムを魚眼レンズで映写)